

金型アカデミー 全コース 3日間

講義レベルは初学者向けとし、該当科目の知識が皆無の人間を想定し、わかりやすく、網羅的な内容とします。

■開講日程

第1部 (2日間)

開講場所

東京 7月14日～15日(金・土曜日) 文京区湯島金型年金会館5階
名古屋 8月4日～5日(金・土曜日) ウィンクあいち 1308号室
大阪 8月25日～26日(金・土曜日) 大阪科学技術センタービル701号室

■授業時間 :50分(+10分休憩)×10コマ

1日目(金曜日)	13:00～13:50	14:00～14:50
	15:00～15:50	16:00～16:50
2日目(土曜日)	10:00～10:50	11:00～11:50
	13:00～13:50	14:00～14:50
	15:00～15:50	16:00～16:50

■第2部

3日目 平成29年 10月13日(金)

■開講場所 機械振興会館ホール (東京都港区)

■授業時間 10:00～15:00 金型アカデミー 第2部
15:00～16:00 金型マスター認定式
16:30～18:30 金型マスター認定者懇親会

■応募締切 平成29年4月28日(金)

受講確定予定日 5月中旬頃を予定しています。

■お問合せ

一般社団法人 日本金型工業会

〒113-0034 東京都文京区湯島2-33-12 金型年金会館6階
TEL:03-5816-5911 FAX:03-5816-5913
E-mail:info@jdmia.or.jp



[http:// www.jdmia.or.jp](http://www.jdmia.or.jp)

■東部支部 (東京事務所)

〒113-0034 東京都文京区湯島2-33-12 金型年金会館6階 TEL:03-5688-1455 FAX:03-5688-1456

■中部支部 (名古屋事務所)

〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉2-21-28 日刊工業新聞社名古屋支社ビル5階 TEL:052-937-0269 FAX:052-937-9889

■西部支部 (大阪事務所)

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル305号室 TEL:06-6479-1477 FAX:06-6479-1479

金型マスター認定制度

スペシャリストをゼネラリストに育てる



世界で戦う実力を見せる化



一般社団法人 日本金型工業会
Japan Die & Mold Industry Association.

一般社団法人日本金型工業会 金型マスター認定制度発足!

スペシャリストをゼネラリストに育てる

世界で戦う実力を見せる化

金型は、お客様とともに作り上げるものです。しかも、一度納めればそれで終わりではなく、納めた後も長年に渡り使い続けていただく商品です。だからこそ、金型を生み出す過程、使い続ける過程でこそ手厚いアフターケアを誇る「日本の金型メーカー」の真価が発揮されるのです。JaDMA(日本金型工業会)の金型マスター認定制度は、その日本ブランドを守り高めるために設けられました。金型製作に優れた技能・技術を持つとともに、正しい知見と製造現場を統率できるリーダーシップを有する人材をマスターとして認定。選定基準のひとつとして国際的に確立させることで、世界で戦う日本の金型メーカーの真価をよりわかりやすい形で見せる化をする。

金型マスター制度が目指すもの

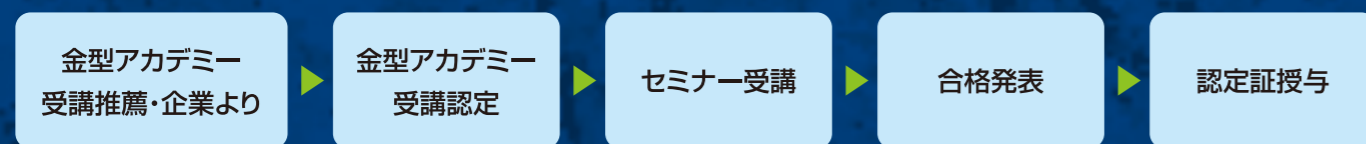
日本の金型メーカーの高品質なものづくりを見せる化

金型マスター認定制度は、マスターの認定を通して、高品質な金型をつくるメーカーを見せる化を図ります。認定制度を導入することにより他国との技術力の差別化をはかります。認定制度の有効性をお客様に認めていただき、お客様を通じて世界のデファクトスタンダードを作ります。

金型業界の次世代リーダー像を明確に

個人が優れた技能・技術をもつだけでなく、リーダーシップを発揮して生産現場を統率し、成果を生み出す力をもつ人材を育成します。金型業界の次世代リーダーが備えるべき技能、マネジメント能力の水準が明確化されて、金型業界における人づくりの指針とします。認定された金型マスターは、社内の職能評価に反映され、現場の若手技能者・技術者の目標とすることができます。

認定までの流れ



所属企業の推薦により候補者が決定。所定の申請書類を郵送またはホームページにて入手し、記入後、推薦書類を添付して日本金型工業会に送付してください。金型アカデミー受講認定者は日本金型工業会本部にて開催される金型アカデミーを受講終了後、認定者の発表となり、認定証の授与がなされます。

金型アカデミー受講推薦基準

以下の(1)(2)(3)を満たしている者をご推薦下さい。(会員企業代表者推薦)

- (1) 今後も日本国内で金型づくりを目指す御社の金型づくりを継承しており、かつ後進に伝える能力・意欲のある者。あるいは期待できる者。
- (2) 金型製造業の経験が10年以上の者で 御社の金型づくりを基準として金型製造者としての能力が 工場長・工場長と同等・工場長に準ずる能力を持っている。あるいは経営者としての後継者・候補者が対象となります。
- (3) 推薦時に日本金型工業会正会員企業に所属している。

募集定員 90名

東京 30名 名古屋 30名 大阪 30名 応募者が定員を超える場合は、抽選となります。
(最低開講人員 15名) 応募者が定員を超える場合は、各社1名等の調整をお願いする場合があります。

受講料・認定料

金型アカデミー受講料・認定料 50,000円 金型アカデミー受講確定者にはご連絡をし、受講料の請求書をお送りいたします。
(受講認定者) 受講料のご入金確認後、受講証をお送りいたします。

金型アカデミー第1部 予定

科目	科目内容	担当講師
金型企業 概論 ～日本と世界の金型産業～	「日本の金型は世界一!」と言われているが“何故世界一なのか?”を再認識すると共に、世界の金型産業の現状と日本の金型企業が直面している状況を学び、「今後も世界一の座にあり続ける為にはマスター認定者はどう行動すべきか?」について学修する。	横田 悦二郎
金型企業戦略論 ～元気な金型企業の成長要因～	近年の取り巻く経営環境の変化の中で、顕著な成長が見られる元気な金型企業に共通する要因を検討するとともに、そうした要因をもつに至った経営戦略について考察し、自社への適用について学修する。	小田 恭市
生産財マーケティング論 ～顧客提供価値の拡大～	顧客のスペックに対応できるQCDに優れた金型製作のみならず、顧客が求める金型に関する価値とは何かを顧客視点で討議・検討し、「顧客提供価値の拡大」のために行うべきことについて学修する。	浪江 一公
ヒト・組織のマネジメント ～やる気のある人材づくり～	自分自身が企業において成果を高めるとともにやる気の高い人材になり、更に優秀な人材を輩出していく組織づくりのために、組織・動機づけに関する必要な知識・考え方を実務で活用できるレベルまでを学修する。	萬代 憲司
技術革新と技術経営 ～新技術への対応～	近年における金型製造の技術革新としての3Dプリンター、金型単体から成形システムとしての工程のIoT化、ハイテン材に代表される新成形素材の開発など取り巻く技術変革を、金型企業が技術経営の視点でどのような取り組みを目指すべきかを学修する。	清水 弘

金型アカデミー第2部

3名～4名講師による講演会(経営者など)将来の金型マスターに必要な知識について講演